

[島原図書館 郷土史を学ぼう会][島原市民文化講座]連携講座

ぶぜんうさぐんさだかくけ
豊前宇佐郡佐田賀来家の

たいほうちゅうぞうじぎょう しまばらはん
大砲鑄造事業と島原藩

幕末、島原藩の飛地領である豊前宇佐郡佐田村の庄屋役、賀来惟熊（かく これたけ）は、島原藩の許可を受けて鉄製砲の鑄造事業に取り組み、民間で初めて成功させました。この事業には、惟熊と4人の息子たち、そして島原藩医をつとめた賀来佐之（すけゆき）・賀来飛霞（かく ひか）の兄弟（惟熊の従弟）も深く関わっていました。



大砲縮小模型（個人蔵・大分県立先哲史料館寄託）



賀来惟熊翁及夫人久子肖像并賛辞【部分】
（個人蔵・大分県立先哲史料館寄託）

賀来家の大砲鑄造事業が成功にいたった経過をたどるとともに、どのような苦労があったのか、そして彼らはなぜ事業に取り組んだのかを中心に紹介します。

- ◆日時 **平成25年8月24日（土）午後2時から**
- ◆場所 **島原市有明総合文化会館**
- ◆講師 **平川 毅 先生（大分県立博物館 主任学芸員）**
- ◆参加費 **無 料**

主 催：島原市/島原市教育委員会/島原図書館/島原文化連盟/島原市民文化講座

問い合わせ先：島原市市長公室 文化・スポーツ振興グループ 電話68-5474